

## 栽培実験計画書

栽培実験名	除草剤グリホサート耐性ワタの隔離ほ場における形態及び生育特性に関する試験
実施会社・法人名	日本モンサント株式会社
公表年月日	平成 16 年 5 月 17 日
<b>1. 栽培実験の目的、概要</b>	
<b>(1) 目的</b> 除草剤グリホサート耐性ワタの生物多様性影響評価に必要なデータを得るため。	
<b>(2) 概要</b> 本栽培実験は日本モンサント株式会社の隔離ほ場で、平成 16 年 5 月下旬から平成 16 年 12 月まで、組換えワタの栽培を行う予定です。その後、同隔離ほ場より土壌を採取し、土壌中の微生物等の状態等を調べる予定です。	
<b>2. 栽培実験に使用する第 1 種使用規程承認作物</b>	
<b>(1) 作物の名称</b> 除草剤グリホサート耐性ワタ MON88913 ( <i>cp4 epsps</i> 、 <i>Gossypium hirsutum</i> )	
<b>(2) 第 1 種使用規程の承認取得年月日等</b> 本栽培実験に用いる組換えワタは、「遺伝子組換え生物等の使用等に規制による生物多様性の確保に関する法律」に基づく第 1 種使用規程承認を申請中です。第 1 種使用規程の認可が得られた後、隔離ほ場で栽培実験を開始します。	
<b>(3) 食品安全承認作物又は飼料安全承認作物の該当性</b> 本年、食品安全承認申請及び飼料安全承認申請を行う予定です。	
<b>3. 栽培実験の全体実施予定期間、栽培開始予定時期及び栽培終了予定期間</b>	
<b>(1) 全体実施予定期間</b> 平成 16 年 5 月から平成 16 年 12 月まで行う予定。	
<b>(2) 栽培開始予定時期及び栽培終了予定時期等</b> 平成 16 年 5 月： 弊社隔離ほ場にて播種予定 平成 16 年 7～8 月： 開花予定 平成 16 年 12 月： 鋤込み予定	
<b>4. 栽培実験を実施する区画の面積及び位置(研究所等内等の区画配置関係)</b>	
<b>(1) 第 1 種使用規程承認作物の栽培規模</b> 236.8 m <sup>2</sup>	
<b>(2) 栽培実験区画の位置</b> 日本モンサント株式会社河内研究農場の隔離ほ場 住所： 茨城県稲敷郡河内町生板字堤向 4475-2	

## 5. 同種栽培作物等との交雑防止措置に関する事項

### (1) 交雑防止措置の内容

隔離畑を囲むように防風網を設置しています。また、本組換えワタの開花期間中は本組換えワタの周りに防虫網を張って栽培します。

## 6. 研究所等での収穫物、実験材料への混入防止措置

除草剤グリホサート耐性ワタを隔離ほ場の外に運び出す場合には、密閉された容器を使用し、混入を防止します。

## 7. 栽培実験終了後の第1種使用規程承認作物の処理方法

実験終了後、除草剤グリホサート耐性ワタを隔離ほ場内に鋤込み又は焼却します。

## 8. 栽培実験に係る情報提供に関する事項

本件の第1種使用規程承認申請に係る生物多様性影響評価書概要は、環境省バイオセーフティクリアリングハウスのホームページ(<http://www.bch.biodic.go.jp/>)で公開されています。

本栽培実験に係る連絡先：

日本モンサント株式会社 バイオ作物情報部

電話番号： 03-6226-6081

FAX 番号： 03-3546-6191

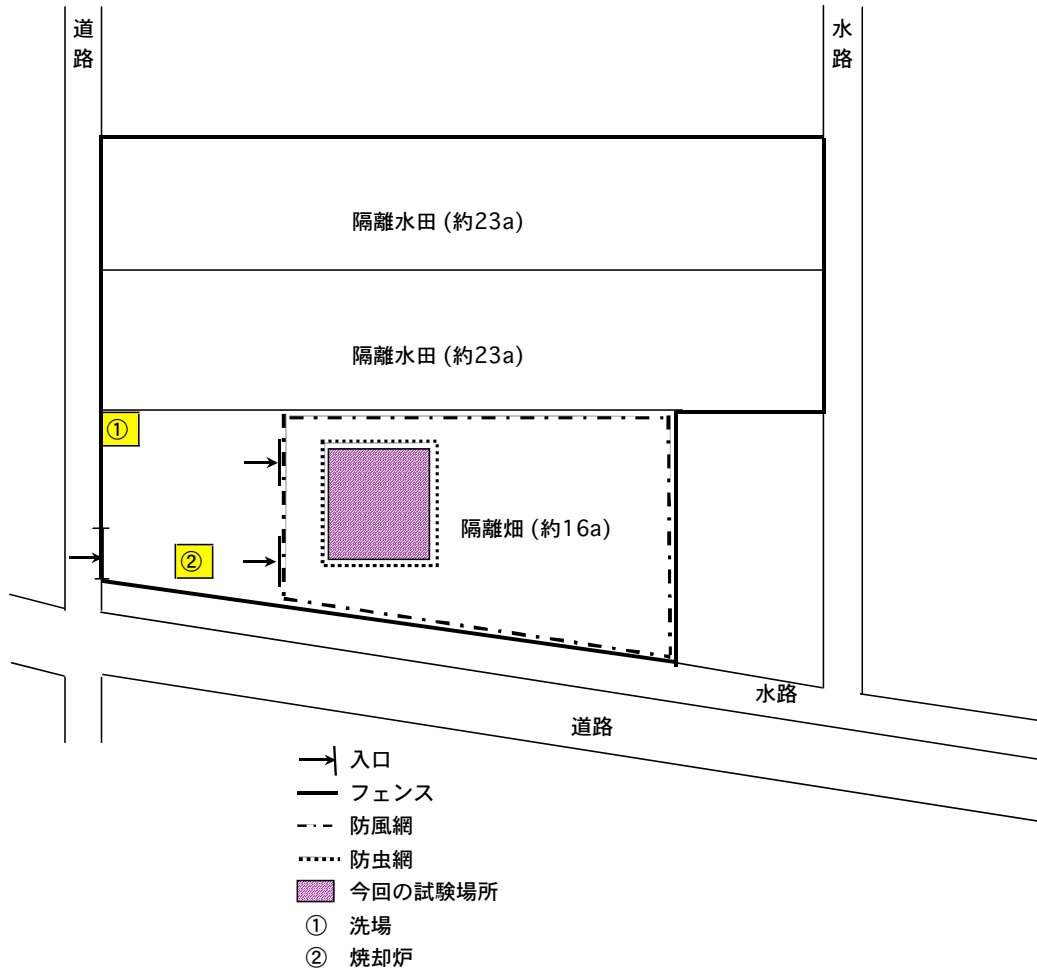
## 9. その他

### これまでの開発・安全性評価の経緯

平成16年2月9日：農林水産省及び環境省に隔離ほ場試験の第1種使用規程承認申請

平成16年4月15日：農林水産省及び環境省が学識経験者による検討結果を公表、パブリック・コメントの募集開始

平成16年5月12日：パブリック・コメントの募集終了



隔離ほ場全体図及び設備の配置